キ リ ト リ 線

オートフィードシュレッダ　保証書 持込修理

品　名	オートフィードシュレッダ 200AFX
品　番	GCS200AFX
保証期間	1年
シリアルNo.	

★お買上げ日	年　月　日
★お　客　様	ご芳名 ご住所 TEL　(　)

★印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
保証期間内に、取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で故障した場合には本書記載内容に基づき、お買い上げの販売店が無償修理いたします。お買い上げの日から左記保証期間内に故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	住所／店名 TEL　(　)

ACCO BRANDS
アコ・ブランズ・ジャパン株式会社
www.accobrands.co.jp
お客様相談センター（野田サービスセンター）
04-7129-2135（代）

個人情報のお取り扱いについて

本保証書にご記入いただいたお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動や保証期間経過後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。お客様の個人情報は当社にて厳重に管理いたしますが、修理のために、当社から修理委託する保安会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございます。その場合は当社が厳重に管理いたしますので、あわせてご了承ください。

取 扱 説 明 書

オートフィードシュレッダ
200AFX

200AFX V1

はじめに

このたびは弊社オートフィードシュレッダをお買い求めいただき、
ありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、
末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

目　次

お客様へ

★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。また使用後は必ず主電源スイッチを切り、電源プラグも抜いてください。

★本機は製造途中において細断テストを含む製品検査を実施しております。細断テストの後、細断くずの除去を行っておりますが、カッターなどに付着した細断くずが輸送途中の振動などにより落下し、くず箱や本体に残っている場合があります、あらかじめご了承ください。

★傷つきやすい床やフローリングでは本体を引きずったりしますと傷がつく場合があります。本体を敷物の上に置く等してご使用ください。

保証とサービス

★保証書は内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
販売店印、お買い上げ年月日の記入の無いものは無効となりますのでご注意ください。

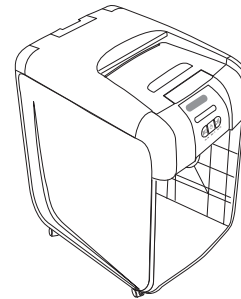
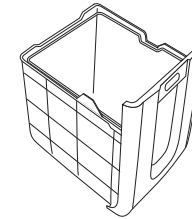
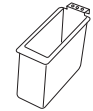
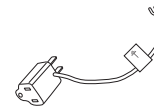
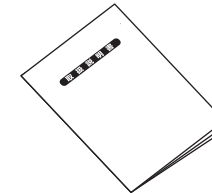
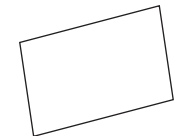
★保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理または交換いたしますのでお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。

（1） 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　a　使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
　b　お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
　c　火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。
　d　過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
　e　本書の掲示のない場合。
　f　本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　g　本機は専門処理業者様の業務用途には適しません。
（2）ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。
（3）本書は日本国内においてのみ有効です。
（4）本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
（5）補修用性能部品保有期間は製造中止後5年間です。
　　同等機種との交換により修理対応とさせて頂く場合もございます。

お客様相談窓口　：野田サービスセンター　04-7129-2135

1・内容物の確認

下記のとおり、本体および付属品が同梱されています。

マシン本体

ダストボックス
（紙類用）

ダストボックス
（メディア用）

電源アダプター
（アース端子付）

取扱説明書（保証書付き）

シュレッダ使用時の注意書き

※お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

2・ご使用上の注意

表示の意味

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告

絶対に可燃性のスプレー式潤滑剤をシュレッダ機構部に噴霧したり、エアゾールを紙投入口から噴霧しないでください。

シュレッダの紙投入口、カッター部、ダストボックス等にスプレー噴霧した場合、シュレッダ内部に可燃性ガスが滞留し、シュレッダのＯＮ－ＯＦＦスイッチの切り替え接点の火花、静電気の火花、内部モーター整流子の火花等に引火して、火災や爆発を引き起こす恐れがあります。
機械の清掃や機構部の注油が必要な場合は、取扱説明書をご覧になるか、弊社にお問い合わせの上、危険のない正しいやり方で行ってください。
（万一、事故が発生し、火傷を負った場合は、すぐに患部を氷水等で冷やしてから医師の手当てを出来るだけ早く受けてください。）

お手入れの際に可燃性スプレーを使用しないでください。内部にガスがたまり、引火の危険性があります。

危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。

※マシン内部にカッターがあり、けがをする恐れがあります。

危険ですので、カッター部には手を触れないでください。また、投入口や排出口には指を入れないでください。
※マシン内部にカッターがあり、けがをする恐れがあります。

ネクタイ・ネックレス・衣類が引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になる恐れがあります。
万一引き込まれた時は電源を切って、引き込まれた部分と引き込まれなかった部分の境で切り離してください。次に、電源を入れて逆転作動させて引き込まれたものを取り除いてください。 引き込まれたまま電源を切らずに、逆転作動させたり、無理に引き戻すことは絶対に避けてください。

10・製品仕様

商品名	オートフィードシュレッダ 200AFX		
品番	GCS200AFX		
細断物	紙	カード	CD/DVD
投入幅	220 mm（A4）		123 mm
細断サイズ	クロスカット（4×40 mm）		ストレートカット（3分割）
最大細断枚数	7 枚	1 枚	1 枚
定格細断枚数	7 枚	1 枚	1 枚
最大細断給紙枚数	200 枚（オートフィード時）		
定格運転時間	10分運転		
細断速度	2.5 m／分（50Hz）、2.7 m／分（60Hz）		
サイズ(W) x (D) x (H)	360 × 490 × 560 mm		
質量 kg	17.0 kg		
電源	AC 100 V, 50/60 Hz		
定格消費電力	230 W		

最大細断枚数：
10回連続で細断することができる枚数。（64g/m² ・A4コピー用紙、細断率90％以上）

定格細断枚数：
定格時間連続で細断することができる枚数。（64g/m² ・A4コピー用紙、細断率90％以上）

定格運転時間：
定格細断枚数を連続して細断できる運転時間です。

現　象	原　因	対処法（参照ページ）
手差し細断できない	◇オートフィードモードで細断中ではありませんか？	オートフィードモードで作動時に、同時に手差し細断することはできません。終了してから手差し細断し直してください。（11ページ）
	◇紙を多く入れすぎていませんか？	細断できる枚数をご確認ください。紙を取り除き、最大細断枚数以下に分けて分けて細断してください。（8ページ）
	◇細断するものが投入口中央を通過していますか？	投入口中央にあるオートスタートセンサーを通過するように投入してください。小さなサイズの紙はトップカバーを開き、紙細断用投入口に直接セットし、トップカバーを閉じることで細断できます。（17ページ）
	◇投入口の奥まで投入していますか？	投入口の構造上入りにくくなっています。紙を立てた状態にして投入口の奥深くまで投入してください。（17ページ）
	◇紙を斜めにして入れていませんか？	手動逆転ボタンを押して紙を引き出し、再度まっすぐに投入し直してください。（20ページ）
オートフィードが作動しない	◇オートフィードモードで運転が止まらない	冬季等の乾燥期や気密性が高い室内等の環境下で使用する場合、発生しやすくなる静電気の影響により「オートスタートセンサー」が反応しない可能性があります。「オートスタートセンサー」を綿棒等で清掃してください。（24ページ）
ゴミが散らかる	◇ダストボックスがすぐゴミで満杯になってしまう	細断を開始する前にダストボックスを引き出し、ゴミを処分してください。 オートフィード時には、「最大収納枚数目盛り」のラインを超えないように注意して、紙をセットしてください。（14・21ページ）
	◇ゴミを捨てる時、ゴミが溢れて散らかってしまう	細断終了後、ダストボックスを前後に揺らしてから取り出すと、ダストボックス内のゴミが均されて、外に溢れにくくなります。（21ページ）

髪が引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になる恐れがあります。
万一引き込まれた時は電源を切って、引き込まれた部分と引き込まれなかった部分の境で切り離してください。次に、電源を入れて逆転作動させて引き込まれたものを取り除いてください。 引き込まれたまま電源を切らずに、逆転作動させたり、無理に引き戻すことは絶対に避けてください。

濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたりしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

⚠ 注意

本機はCD/DVD/カード（プラスチック製カードのみ）と紙類の細断専用機です。他の目的に使用しないでください。
※故障の原因となります。
★ＯＨＰシート・カーボン紙・ノンカーボン紙・厚紙・通帳の表紙・封筒（糊がついているため）・ポリ袋・布・ビニール・フィルム・ラベル用紙・シールなどの糊の付いたものは細断には適しません。投入しないでください。
★クリップ・ピン・ステープル等は必ず取り除いてから投入してください。針をつけたままの細断はステープル10・11号針以外はできません。

ボタン電池は投入しないでください。
※故障の原因となります。

CD/DVDのラベルははがして細断してください。
※カッター内部にラベルが付着し、細断能力が落ちたり、故障の原因になります。

CD/DVD/カードのゴミを処理する時は、細断くずで手などを傷つけないように注意してください。
※けがをする原因になる恐れがあります。

トップカバー後部には手や物を置かないでください。
※カバーの開閉時に生じるすき間に入ると、負傷したり、マシンの故障の原因となります。

本機は重心が高い位置にありますので、転倒に注意してください。
水平で安定した場所に設置してください。
※けがをする原因になる恐れがあります。
操作中に転倒したときは、必ず電源を切って適切に処理してください。

本機の上に物をのせたり、腰掛けたり、のったりしないでください。
※けがをする原因になる恐れがあります。

冷暖房機のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

本機に水などをかけないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

ゴミを捨てる時、ご使用にならない時、移動する時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

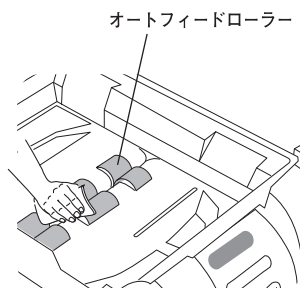
必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにものをおかないでください。

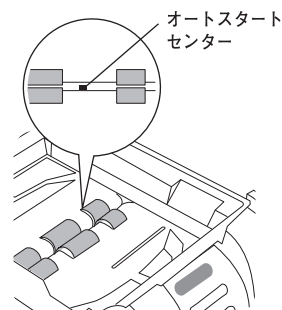
電源は必ずAC100V 電源をご使用ください。タコ足配線はしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

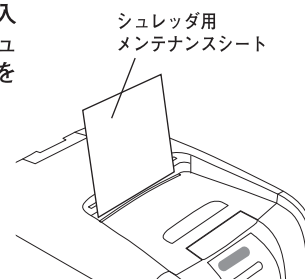
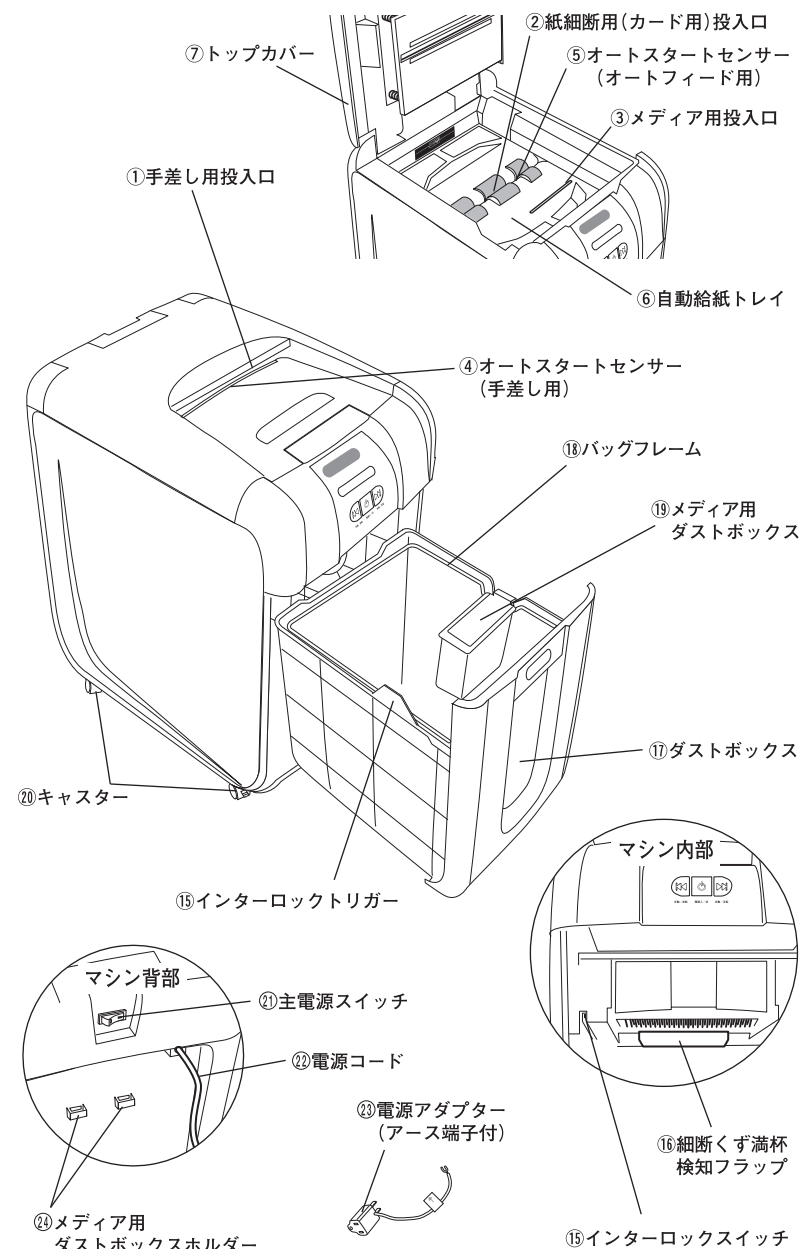
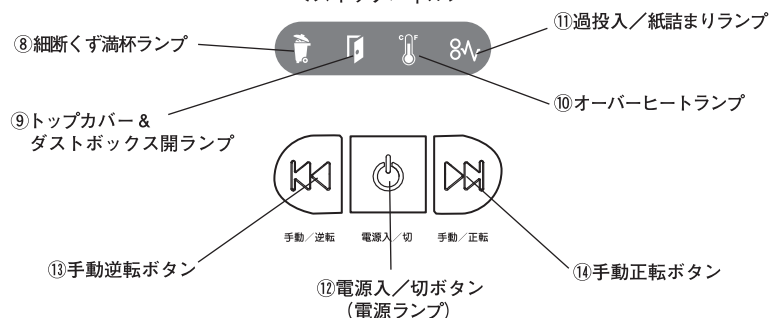
9・こんな時は

現　象	原　因	対処法（参照ページ）
動かない	◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。（13・17ページ）
	◇電源が入っていますか？	マシン背面にある主電源スイッチを“入(｜)”にしてください。（13・17ページ） 電源ボタンを押してしてください。 電源ボタン(青)の点灯を確認してください。（13・17ページ）
	◇トップカバー＆ダストボックス開ランプが点灯していますか？	トップカバーやダストボックスがしっかり閉まっていませんとこのランプが点灯して、作動しません。奥まできちんとセットしてください。（10・14ページ）
	◇細断くず満杯ランプが点灯していますか？	ダストボックスのゴミが満杯になりますと、このランプが点灯して停止します。ダストボックスのゴミを捨ててください。（21ページ）
細断中に止まった	◇過投入／紙詰まりランプ点灯していますか？	適正細断枚数以上の紙やカードを細断した場合や、紙詰まりを起こした場合、トラブルを防ぐために過投入／紙詰まりランプが赤色に点灯して細断を拒否します。（15ページ）
	◇オーバーヒートランプが点滅していませんか？	通常の使用を超えて連続細断したり、紙がかみこんだ状態で放置しますと、モーター保護のため自動的に停止します。電源プラグを抜き、約60分冷却してください。再び使用することができます。（10ページ）
オートフィード細断できない	◇オートフィードトレイに紙が残ってしまう	規定以外の紙厚・細断不可物・オートフィードできないものが感知されたため、オートリバース機能が働きました。紙を取り除きいてください。（8・12・15ページ）
	◇ステープラーで綴じた書類が詰まってしまう	規定内の枚数(25枚以下)か確認してください。また、ステープル針の下部分(隙間のある側)が下になるようにセットし直してください。（12ページ）

オートフィードローラーのクリーニング

オートフィードトレイ中央に3対のオートフィード用のローラーがあります。長くご使用されておりますと、ホコリの付着等によりオートフィードに支障をきたす場合があります。
乾いた布でローラーのホコリの付着を落としてください。

オートスタートセンサー（オートフィード）のクリーニング

本機には、光方式のオートスタートセンサー（オートフィード）が装備されています。長くご使用されておりますとホコリの付着等によりまれに誤動作を起こす場合があります。
レンズ部分を綿棒等でホコリの付着を落としてください。

カッターのメンテナンス（メンテナンスシート）

カッターの性能を持続するために、シュレッダに投入するだけで簡単に使用できるメンテナンス用潤滑油「シュレッダ用メンテナンスシート（別売）」を利用することをお薦め致します。

3・各部の名称と働き

① 手差し用投入口
手差し細断（ノーマルモード）時の手差し用投入口です。紙以外の投入は絶対に避けてください。

② 紙細断用（カード用）投入口
紙細断時の投入口です。また、カード（プラスチック製カードのみ）を細断する場合もこの投入口へ入れてください。

③ メディア用投入口
CD/DVD用投入口です。

④ オートスタートセンサー（手差し用）
手差し用投入口中央にあるセンサーを通過しないと、カッター/モーターは自動正転しません。

⑤ オートスタートセンサー（オートフィード用）
自動給紙用投入口にあるセンサーがセットされた紙を感知して、カッター/モーターを自動正転させます。

⑥ 自動給紙トレイ
オートフィードモードで細断する場合、細断する紙をこの自動給紙トレイにセットしてください。セットされた紙は紙細断用投入口に送られ、自動的に細断されます。

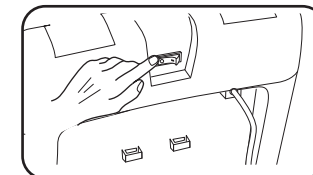
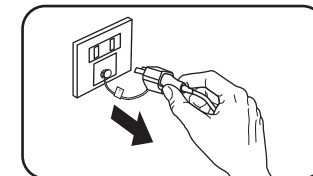
⑦ トップカバー
自動給紙トレイにセットされた紙を押さえます。また、このカバーがしっかり閉まっていませんと安全のために作動しません。トップカバー＆ダストボックス開ランププランプ（赤）が点灯します。

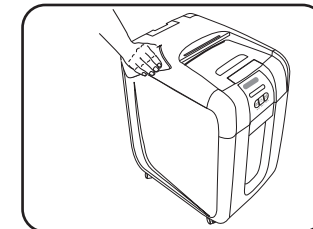
⑧ 細断くず満杯ランプ
細断くずが満杯になりますと、自動でカッターが停止し、このランプが赤色に点灯して知らせます。ダストボックスのゴミを捨ててください。

⑨ トップカバー＆ダストボックス開ランプ
トップカバーやダストボックスがしっかり閉まっていませんと、このランプが赤色に点灯して作動しません。トップカバーやダストボックスを確認してください。

⑩ オーバーヒートランプ
連続運転を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置しますと、オーバーヒート防止機能が働き、オーバーヒートランプが赤色に点滅して自動的に停止します。約60分後モーターが冷却され、ランプが消灯して再度使用することができます。

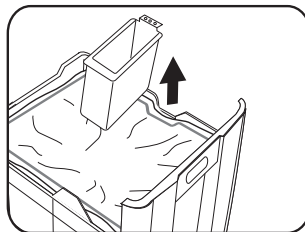
8・お手入れ方法

①主電源スイッチを"切（O）"にしてください。

②電源プラグをコンセント（AC 100V）から抜き、アース端子を取り外してください。

③やわらかい布でから拭きをしてください。

※お手入れはマシン本体の外部樹脂部とキャビネットだけにしてください。

★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。
※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

⚠ 警告

ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

⑤メディア用ダストボックスは紙用ダストボックスから取り外して、ゴミを処分してください。

★細断クズは地域の指定に従って処理しましょう。

ダストボックスの窓の８分目まで細断くずが到達したら、早めにゴミを捨ててください。
巻き込み等故障の原因となります。

★メディア用ダストボックス内のくずは表から視認できません。メディアのくずがたまりすぎますと、くずが巻き上がりたいへん危険です。また故障の原因となります。
CD/DVDは8枚を目安に早めに捨ててください。

⚠ 注意

CD/DVD/カードのゴミを処理する時は、細断くずで手などを傷つけないように注意してください。

⑪ **過投入／紙詰まりランプ**
適正細断枚数以上の紙やカードを細断した場合や、紙詰まりを起こした場合、トラブルを防ぐために過投入／紙詰まりランプが赤色に点灯して異常を知らせます。

⑫ **電源入／切ボタン（電源ランプ）**
電源入／切ボタンを押すと電源が入り、このボタン（青）が点灯します。手差し細断時では、オートスタート機能が働き、紙がオートスタートセンサーを通過することにより自動的に正転作動・停止します。

⑬ **手動逆転ボタン**
手動逆転ボタンを押している間だけ、カッターは逆転作動します。

⑭ **手動正転ボタン**
手動正転ボタンを押している間だけ、カッターは正転作動します。

⑮ **インターロックスイッチ／トリガー**
キャビネットにダストボックスがきちんとセットされていない場合は、安全のために本機は作動しません。万一の場合は､ダストボックスを引き出すとモーターは停止しますので､非常停止手段として使用可能です。

⑯ **細断くず満杯検知フラップ**
細断くずが満杯になりますと、細断くず満杯検知フラップが働き、自動でカッターが停止し、細断くず満杯ランプが赤色に点灯して知らせます。ダストボックスのくずを捨ててください。

⑰ **ダストボックス**
本体にセットしてご利用いただく専用の紙用ダストボックスです。

⑱ **バッグフレーム**
このフレームにゴミ袋をセットしてご利用ください。

⑲ **メディア用ダストボックス**
紙用ダストボックスにセットして使用してください。

⑳ **キャスター（前2ヶ所ストッパー付）**
安全のために、使用時は必ずキャスターのストッパーをロックさせてください。
キャスターのレバーを下にセットするとロックできます。

㉑ **主電源スイッチ**
マシン背面にある主電源スイッチを押して、電源を入（Ｉ）／切（○）にします。使用しない場合は、必ず電源を切ってください。

㉒ **電源コード**
付属の電源コネクターして、必ずAC100V のコンセントに接続して使用してください。
タコ足配線は避けてください。

㉓ **電源アダプター（アース端子付）**
電源コードをしっかりと差し込み、コンセントに接続して使用してください。

㉔ **メディア用ダストボックスホルダー**
メディア用ダストボックスを使用しない時は、このホルダーに掛けて収納してください。

4・ご使用の前に

細　断　能　力

紙詰まりなどによる故障を避けるために、下記の細断枚数を必ず守ってください。

＜手差し細断（ノーマルモード時）＞

種類	摘要	カットタイプ	最大細断枚数	定格細断枚数
紙　類	A　4（コピー用紙 64g/m²）	クロスカット（4×40mm）	7枚（50Hz） 7枚（60Hz）	7枚（50Hz） 7枚（60Hz）
カード	カード	クロスカット（4×40mm）	1枚（50Hz） 1枚（60HZ）	1枚（50Hz） 1枚（60HZ）
記録用メディア	CD/DVD	ストレートカット（3分割）	1枚（50Hz） 1枚（60HZ）	1枚（50Hz） 1枚（60HZ）

＜最大給紙可能枚数（オートフィードモード時）＞

紙　類	コピー用紙（64g/m²ー80g/m²）	クロスカット（4×40mm）	約200 枚（50/60Hz）

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。

最大細断枚数：

10回連続で細断することができる枚数。（64g/m²・A4コピー用紙、細断率90％以上）

定格細断枚数：

定格時間連続で細断することができる枚数。（64g/m²・A4コピー用紙、細断率90％以上）

⚠ 注意

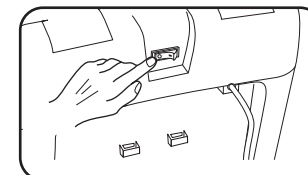
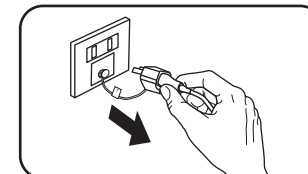
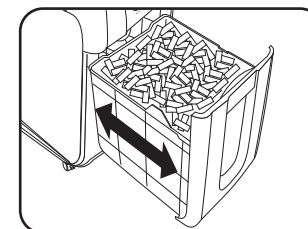
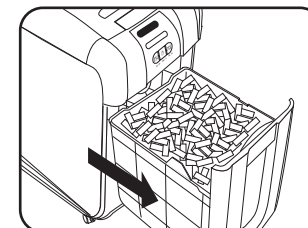
CD/DVDを絶対に紙専用投入口に入れて細断しないでください。
モーター保護のため、紙類とCD/DVDを同時に細断しないでください。
※故障やけがをする原因になる恐れがあります。

7・ゴミを捨てる時

本機は紙用とメディア用の２つのダストボックスを搭載しておりますが、静電気等の理由により完全な細断くずの分別はできません。あらかじめご了承ください。

ー細断くず満杯検知システムー

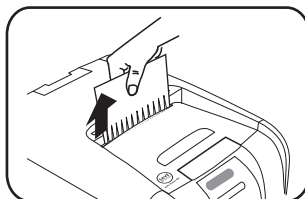
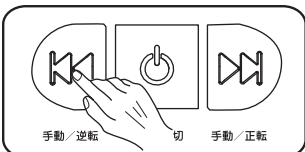
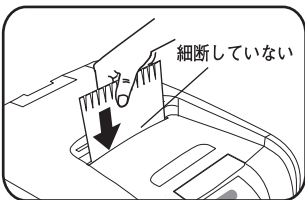
本機には、細断くず満杯検知フラップが装備されています。ダストボックスが満杯になりますと、細断くず満杯ランプ(赤)が点灯して、細断くずが満杯であることを知らせ、細断ができなくなります。ダストボックスにたまったゴミを処分してください。

①主電源スイッチを“切（O）”にしてください。

②電源プラグをコンセント（AC 100V）から抜き、アース端子を取り外してください。

③ダストボックス内のゴミが満杯に近い状態の時は、細断終了後、ダストボックスを前後に揺らしてからダストボックスを取り出すとゴミが均されて外にあふれにくくなります。

④ダストボックスをキャビネットから引き出し、ゴミを処分してください。

★ゴミを捨てる時に、インターロックスイッチ／トリガーを破損しないようにていねいにお取り扱いください。

紙詰まりを起こした時（ノーマルモード時）

紙詰まりが解消せず、過投入／紙詰まりランプ(赤)が点灯したままの場合は、下記手順で詰まったものを引き出してください。

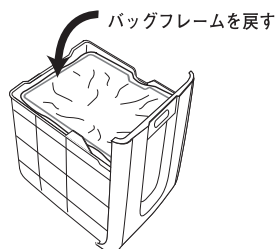
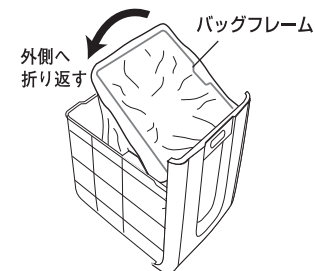
①手動逆転ボタンを押して、カッターを逆転させてください。手動逆転ボタンを押している間、カッターは逆転作動し続けます。

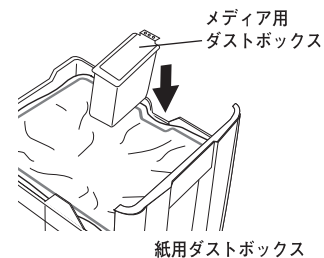
②手動逆転ボタンを押しながら、詰まった紙を引き出してください。

③一度の操作で紙詰まりが解消しない場合は、手動正転ボタンを押した後に、再度手動逆転ボタンを押してください。

④詰まった紙の量を減らして、細断していない方向から投入口にまっすぐに入れ、細断し直してください。

⚠ 注意

モーター保護のため、過度に正転⇔逆転を繰り返さないでください。故障の原因となる場合があります。
必ず最大細断枚数を守ってご使用ください。

紙詰まりを起こしたまま放置しないでください。
※故障をする原因になる恐れがあります。

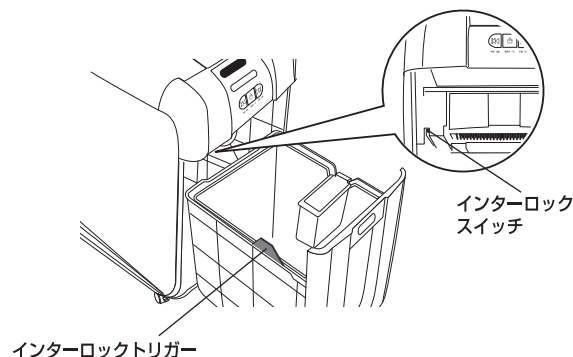
ゴミ袋のセット

バッグフレームを上げて、ゴミ袋をフレームの中に入れ、縁を外側へ折り返して、バッグフレームを元へ戻してください。

メディア用ダストボックスの取付方法

メディアを細断するときは、メディア用ダストボックスを使用していただくと細断クズを分別することができます。（静電気等の理由により完全な細断くずの分別はできません。）
メディアの専用ダストボックスを紙用ダストボックスにセットして使用してください。

★メディア用ダストボックスはCD/DVDを細断する時だけ取り付けてください。
紙類を細断する場合はメディア用ダストボックスを外して、メディア用ダストボックスホルダーに掛けてください。

★メディア用ダストボックス内のくずは表から視認できません。メディアのくずがたまりすぎますと、くずが巻き上がりたいへん危険です。また故障の原因となります。
CD/DVDは8枚を目安に早めに捨ててください。

インターロックスイッチ

ダストボックスとキャビネットがきちんとセットされていない場合は、安全のために本機は作動しません。
正しくセットされていない場合は、トップカバー＆ダストボックス開ランプが赤色に点灯して知らせます。

機能説明

ーオートカットオフ機能ー

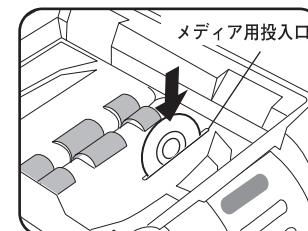
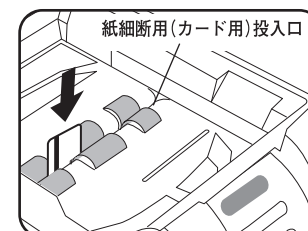
本機はモーター保護のためオートカットオフ機能が働きます。連続運転（10分以上）を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置しますと、オーバーヒートランプが赤色に点滅し自動的に停止します。この機能が働き本機が停止した時は、必ず電源を切りそのまま冷却してください。
約60分後には再び使用することができます。
電源を切りませんと、復帰後、急にカッターが回転して大変危険です。

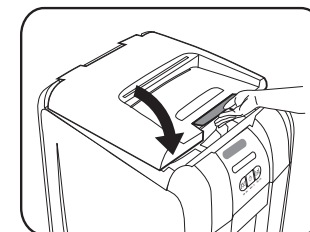
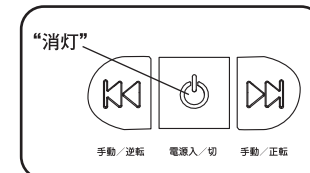
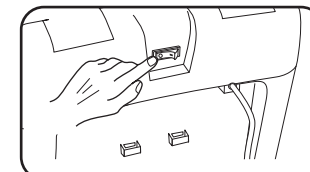
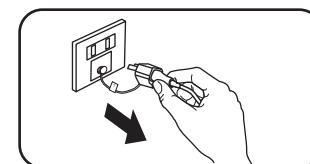
ーオートシャットオフ機能ー

本機は省エネルギー・安全性のため、約2分間以上細断物を何も投入しないと、自動で電源オフになります。
電源を再度入れる場合は、電源入／切ボタンを押してください。

ートップカバー＆ダストボックス開警告機能ー

本機は安全のため、トップカバーが開いている状態、ダストボックスがセットされていない状態では作動しません。トップカバー＆ダストボックス開ランプ（赤）が点灯して知らせます。しっかりセットし直してください。

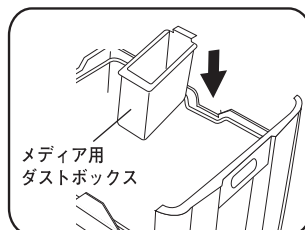
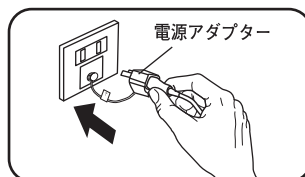
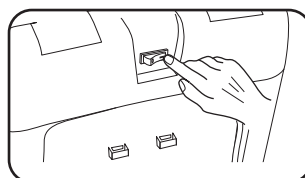
⑥CD/DVDの細断：
メディア用投入口へ細断するCD/DVDを奥まで差し込んでください。

カード類の細断：
紙細断用（カード用）投入口ローラーの間に細断するカード類を奥まで差し込んでください。

★小さなサイズの紙類の細断
レシート等の小さな紙類は、カード類と同様の方法で細断してください。

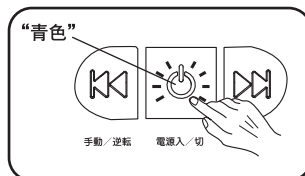
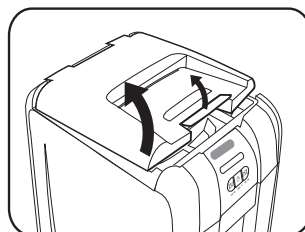
⑦中央のハンドルを持ち上げながら、トップカバーを押してしっかりと閉めてください。
閉めた後、自動的に細断を開始します。

⑧終了後は、必ず電源ボタンを押して、電源を切ってください。
※細断が終了しますと、約2分後に電源ボタン（青色）が消灯して、自動的に待機状態になります。
再度使用する場合は、電源入／切ボタンを押してください。

⑨マシン背面にある主電源スイッチを“切（○）”にしてください。

⑩電源プラグをコンセント（AC 100V）から抜き、アース線を取り外してください。

CD/DVD・カード類の細断

CD/DVDの細断はオートフィードトレイ内のメディア用投入口を、カードの細断は紙細断用投入口を利用して、下記手順で細断してください。

★CD/DVD/カードは必ず1枚ずつ細断してください。

①メディア専用ダストボックスを紙用ダストボックスにセットしてください。

★メディア用ダストボックス内のくずは表から視認できません。メディアのくずがたまりすぎますと、くずが巻き上がりたいへん危険です。また故障の原因となります。
CD/DVDは8枚を目安に早めに捨ててください。

②付属の電源アダプター(アース端子付)のアース端子をアース接続した後に、コンセント(AC100V)に差し込んでください。

③マシン背面にある主電源スイッチを"入(I)"にしてください。

④電源ボタンを押してください。
電源ボタン(青色)が点灯し、細断が可能になります。

※2分間使用しないと、電源入/切ボタン(青色)が消え、自動的に待機状態になります。再度使用する場合は、電源入/切ボタンを押してください。

⑤中央のハンドルを上げながら、トップカバーを垂直になるまで引き上げてください。

注意事項

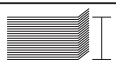
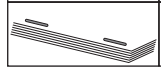
注意

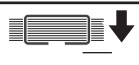
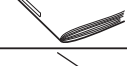
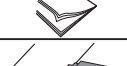
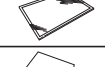
★モーター保護のため、紙類とCD/DVDを同時に細断しないでください。

★CD/DVD/カード類は必ず1枚ずつ細断してください

CD/DVD　CARD

ーオートフィードモードとノーマルモードー

オートフィードモードとノーマルモード(手差し細断)を同時に行うことはできません。また、紙類・CD/DVDも同時に細断しないでください。故障の原因となりますので、細断しているものが終了してから細断してください。

ダストボックスの窓の8分目まで細断くずが到達したら、早めにゴミを捨ててください。巻き込み等故障の原因となります。

★メディア用ダストボックス内のくずは表から視認できません。メディアのくずがたまりすぎますと、くずが巻き上がりたいへん危険です。また故障の原因となります。
CD/DVDは8枚を目安に早めに捨ててください。

5・ご使用方法<オートフィードモード>

ーオートフィードできないものー

下記のものについてはオートフィードモードで細断しないでください。故障の原因となります。

✕	オートフィード不可事項	対処方法
	☆10・11号針以外のステープルを使用した書類	☆ステープルを外してセットしてください。
	☆25枚以上をステープルで綴じた書類	
	☆2ヶ所以上ステープルで綴じた書類	

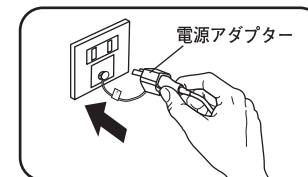
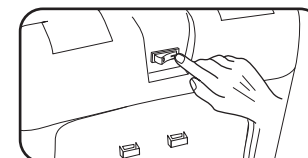
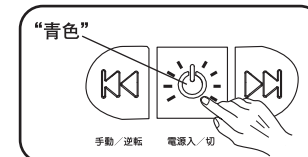
<注意事項>

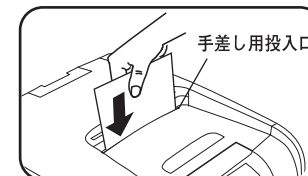
	☆ステープルで綴じた書類を細断する場合留めた針の隙間が下になるようにセットしてください。

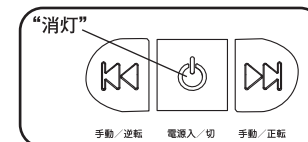
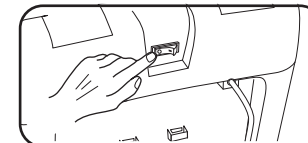
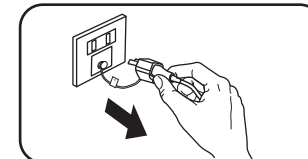
	☆製本された書類	☆細断できません。
	☆クリップで綴じた書類	☆クリップを外してセットしてください
	☆雑誌類	☆細断できません。
	☆複数に折った書類（2ツ折を1枚までは可能）	☆手差し投入で細断してください。
	☆A5サイズ以下の小さな紙	
	☆カード類	
	☆縮れた紙	
	☆湿った紙	☆乾かした後、手差し投入で細断してください。
	☆封筒書類	☆細断できません。
	☆プラスチックシート	
	☆光沢紙・ラミネートした書類・厚紙	
	☆糊のラベル・シール	

最大収容枚数（オートフィード時）	コピー用紙（64g/m^{2}ー80g/m^2）	約200 枚

ノーマルモード（手差し細断）

①付属の電源アダプター（アース端子付）のアース端子をアース接続した後に、コンセント（AC100V）に差し込んでください。

②マシン背面にある主電源スイッチを"入（｜）"にしてください。

③電源ボタンを押してください。
電源ボタン（青色）が点灯し、細断が可能になります。
※2分間使用しないと、電源入／切ボタン（青色）が消え、自動的に待機状態になります。再度使用する場合は、電源入／切ボタンを押してください。

④手差し投入口中央にあるオートスタートセンサーを通過するようにして、紙を立てた状態で奥深くまで投入してください。

⚠ 注意

手差し用投入口は紙専用投入口です。
CD/DVDを絶対にこの投入口に入れて細断しないでください。
※故障やけがをする原因になる恐れがあります。

⑤終了後は、必ず電源ボタンを押して、電源を切ってください。
※細断が終了しますと、約2分後に電源ボタン（青色）が消灯して、自動的に待機状態になります。再度使用する場合は、電源入／切ボタンを押してください。

⑥マシン背面にある主電源スイッチを"切（○）"にしてください。

⑦電源プラグをコンセント（AC 100V）から抜き、アース端子を取り外してください。

6・ご使用方法＜ノーマルモード＞

細断不可アイテム

本機はCD/DVD/カード（プラスチック製カードのみ）と紙類の細断専用機です。
下記のものについては細断しないでください。故障の原因となります。

ステープル不可
10・11号針以外
は不可

ポリ袋不可

封筒書類不可
※糊・粘着シール等が
付いたものを含む。

クリップ不可

ボタン電池不可

雑誌類不可

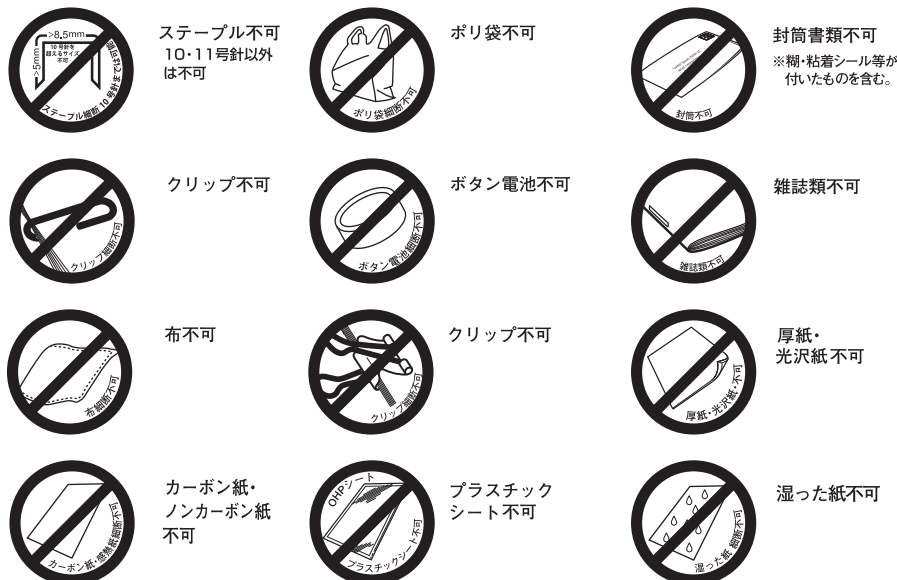
布不可

クリップ不可

厚紙・
光沢紙不可

カーボン紙・
ノンカーボン紙
不可

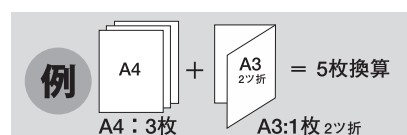
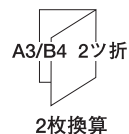
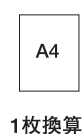
プラスチック
シート不可

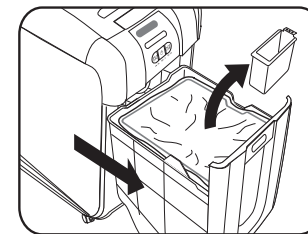
湿った紙不可

ノーマルモードでの本機の定格細断枚数は**7枚**(50Hz/60Hz)となっております。

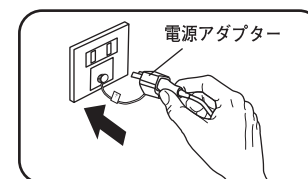
投入口に入らない大きいサイズの紙類を細断する場合は2ツ折にしてください。
その場合、2枚換算となります。

1枚換算

A3/B4 2ツ折

2枚換算

オートフィードモード（自動給紙細断）

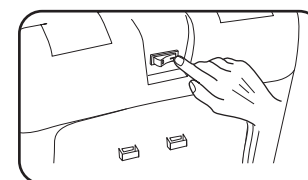
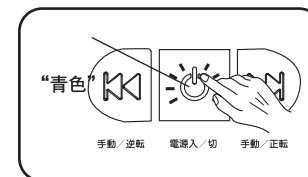
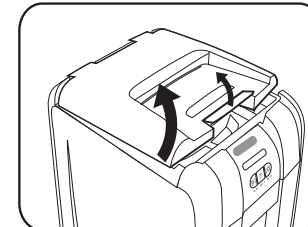
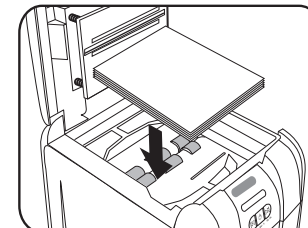
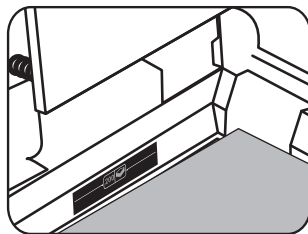
①ダストボックスをキャビネットから引き出し、ゴミを処分して、ダストボックスを空にしてください。また、メディア用ダストボックスを取り外して、本体背部のホルダーに収納してください。

※紙詰まりの原因となりますので、必ずダストボックス内のゴミを処理してからオートフィードモードでの細断をしてください。

②付属の電源アダプター（アース端子付）のアース端子をアース接続した後に、コンセント（AC100V）に差し込んでください。

③マシン背面にある主電源スイッチを“入（ I ）”にしてください。

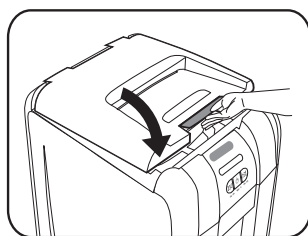
④電源ボタンを押してください。
電源ボタン（青色）が点灯し、細断が可能になります。

※2分間使用しないと、電源入／切ボタン（青色）が消え、自動的に待機状態になります。再度使用する場合は、電源入／切ボタンを押してください。

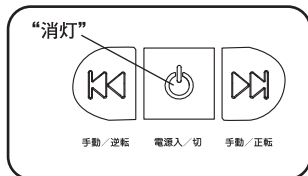
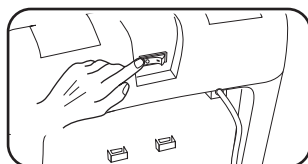
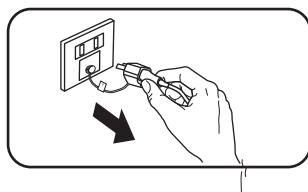
“青色”

手動／逆転　電源入／切　手動／正転

⑤中央のハンドルを上げながら、トップカバーを垂直なるまで引き上げてください。

⑥フィードトレイに細断する書類を重ねて置いてください。この時、トレイのからはみ出さないようにセットしてください。

＜トレイ最大収容枚数＞
※約200枚の書類（コピー用紙　64g/m²～80g/m²）を重ねることができます。トレイ内のガイドを参照してください。

⚠ 注意

収納トレイに書類をセットする場合、絶対に最大収容枚数のラインを超えないようにセットしてください。
※マシンの故障の原因となります。

⑦中央のハンドルを持ち上げながら、トップカバーを押してしっかりと閉めてください。
閉めた後、フィーダーが自動給紙して、細断を開始します。

⚠ 注意

トップカバー後部には手や物を置かないでください。
※カバーの開閉時に生じるすき間に入ると､負傷したり､マシンの故障の原因となります。

⑧終了後は、必ず電源ボタンを押して、電源を切ってください。
※細断が終了しますと、約2分後に電源ボタン（青色）が消灯して､自動的に待機状態になります。再度使用する場合は、電源入／切ボタンを押してください。

⑨マシン背面にある主電源スイッチを"切（○）"にしてください。

⑩電源プラグをコンセント（AC 100V）から抜き、アース端子を取り外してください。

紙詰まりを起こした時（オートフィードモード時）

自動給紙用（オートフィード）投入口で細断した場合、過負荷防止機能により、モーターが過負荷になりますと、過投入/紙詰まりランプ（赤）が点滅し、下記のように自動的に解消動作を繰り返します。指示に従って操作してください。
トップカバーを開けて紙詰まり解消した紙を取り除いてください。